

## 第 60 回年次大会 領域 9 インフォーマルミーティング議事録

### 議題

- ( 1 ) 今大会のプログラム編成
- ( 2 ) 次大会までのスケジュール
- ( 3 ) 領域メーリングリストについて

surface\_ML が領域 9 のメーリングリストであることを再確認した。

後ほど、物理学会の ML との区別についての質問があった。Surface\_ML はそれとは異なるものであり、物理学会の ML とは連動していない(たとえば、surface\_ML に登録しても物理学会 ML に登録されることはない)ことを確認し、今後周知するとした。一方、物理学会の ML がどのようなものであるか明確でなく、後日確認することとした。

後日確認：

選挙を web 上で行うためのアドレス確認が主目的で、

- ・登録を望まない人はする必要はありません。
  - ・現在登録している人も正しく登録されているかを確認する必要があるので、メールの一括送信を行い、メールが 4 月 15 日に来た人は登録する必要はありません。
- また、これにより現在の登録状況が確認出来ます。

- ( 4 ) JPSJ からのお知らせ

フレンドシップミーティングについて

JPSJ ニュースレターを配布

- ・ JPSJ 閲読の改善
- ・電子版の充実、海外誌とのリンクが進んでいることについて
- ・ JPSJ のホームページの改善について
- ・「招待論文」と「特集」の予告
- ・論文数推移
- ・ JSPJ への意見について

### 協議事項

- ( 1 ) 次期領域副代表・次々期領域代表の推薦・承認

齋藤領域代表から馬越健次氏の推薦があり承認された。(馬越氏談：私でよろしければ。)

- ( 2 ) 次大会におけるシンポジウム・招待講演

1. シンポジウム 提案者 本同宏成

主題 バイオミネラリゼーション

講演者候補に物理学会会員が一人もいないことに問題はないかとの質問があった。特に、問題はないと思われるが、物理学会に確認する。また、本主題は境界領

域分野であり、この状況はある程度しょうがない。しかし、今後物理学会会員で関連研究をしている研究者もメンバーに加えるよう努力する。

ほか領域との共催を検討しているか、との質問があった。今後検討するとのこと。その際、斎藤領域代表から共催の際には相手領域との確認及び了承を十分にとるようにとの注意があった。

## 2. シンポジウム 提案者 菅原康弘

主題 原子間力顕微鏡の新展開

提案者が登壇者になっているが、問題はないかと質問があった。問題がある可能性があるので、提案者は趣旨説明のみとするよう変更、また、それに伴い講演者の追加を検討するとのこと。

公演時間は 15 分の倍数がよいとの指摘があり、そのように改善するとのことであった。

これらのシンポジウムの提案時の順位付けは世話人に一任ということで了解を得た。

## 3. 招待講演 提案者 小林伸彦

登壇者 大島義文

テーマ 金属ナノチューブ・ナノワイヤの物性

発表内容は自身の研究内容かとの質問があった。そうであるとのこと。

## 4. 招待講演 提案者 古川義純

登壇者 Prof. Bilgram (Swiss)

テーマ 氷と水の界面について、キセノンの成長など

後ほどに正式な提案書を提出してもらうようにした。

これらの招待講演も提案時の順位付けは世話人に一任ということで了解を得た。

また、領域代表から次のことを確認された。

領域 9 ではシンポジウム・招待講演の提案においてはインフォーマルミーティングでの承認が必要とされている。インフォーマルミーティング後の提案についても、一応受け付けて ML を通して承認を得るが、推薦順位についてはインフォーマルミーティングで承認を得た提案よりも下位とすることとする。

### (3) キーワード・合同セッションについて

新トピックスについて、見直しが前回からの申し送りとなっているが、当面は従来どおりとする。

### (4) 次々期世話人の推薦・承認

広瀬賢二氏、新井豊子氏、吉崎泉氏の推薦があり承認された。

ただし、新井氏に関しては本人確認が取れていない。もし、不可能であった場合はMLで新たな推薦を知らせる。

後日確認：新井氏に確認取れました。

その他・お知らせ

国際会議。研究会についてアナウンスがあった。

・ International Symposium on Surface Science and Nanotechnology

November 14-17, 2005

・ 10th ISSP symposium on nanostructures at surfaces

2006年10月10日 - 13日

世話人から、シンポジウムや招待講演の提案が世話人主体となっているので、もっと積極的に提案してほしいとの要望があった。特に、具体的な形にならなくても漠とした状態でも意見してほしいとのこと。

以上。